

2017年9月 竹パウダーニュース

「 “ブランド米「里山の夢」” 収穫開始！！」

写真は9月10日に殿垣内町の圃場での稲刈風景です。今年は春先より好天が続き、出穂期（穂が出る時期）も昨年より3～4日早くなり、新米出荷も早まりそうです。

山内自治振興区米づくり研究会では収穫にあたり生産者全員に参加してもらい、9月5日に県農業技術指導所の指導員、市、JAの担当者と一緒に研修を行いました。

今回は、生葉数（収穫期まで生きた葉）を調べることで、根域が最後まで元気で活動しているかを知ることができました。初めての調査でしたが、収穫期での稲の健康状態がチェックでき、今後役に立つ研修でした。

また、積算温度やモミの黄化率による刈取適期の判定法や、カントリーエレベーターへの生粳出荷と倉庫への玄米出荷方法について研修し、収穫に向けての準備をしました。

現在250余枚の圃場でブランド米づくりを行っていますが、今年の作柄は天候・生産者の努力で順調に推移しています。地力強化対策として散布した鉄資材の効果もあり、今年も美味しいお米期待できそうです。



2017年10月 竹パウダーニュース

「 “ブランド米「里山の夢」” イベントでPR活動！！」

今年は、田植え以降好天に恵まれ、品質の良い高食味のお米ができました。

栽培研修で学んだ鉄資材の継続投入、中干しの徹底など栽培管理をしっかり行った結果、食味計による測定でも最高点タンパク値6.2%、食味値94点など、ほとんどのお米がブランド米基準を大きくクリアし出荷されました。

出荷見込み数量は、カンントリーエレベーターへの出荷約2000袋、玄米出荷約4500袋で昨年を500袋程度上回る見込みとなっています。

また、新米販売もインターネット・電話での直接販売、かんぼの郷・ゆめさくら等の店頭販売も昨年より早い9月15日よりスタートしました。

写真にあるみのりの祭典での販売ブース出展（総領町10月8日）、大阪府堺市でのイベント販売（10月14～15日）や広島市西区の大型スーパー「レクトゆめタウン」での店頭試食販売（10月15日）など生産者が手分けして新米イベントを行いました。また、東京（イトーヨーカ堂）での店頭試食販売（10月14～15日）を今回初めて行いました。この報告は、次回させていただきます。

より良いお米の栽培と販売網の拡大に今後とも努力していきます。



2017年11月 竹パウダーニュース

「“里山の夢ファーム”法人化に向けて先進地視察！！」

県農業技術指導所と法人化について協議をする中で、農地集積をしない法人では農事組合法人とするのは難しいとの結論になり、株式会社か協同組合の形態で準備を進めていくことになりました。

その中で、協同組合の先進地として安芸高田市高宮町にある「川根柚子協同組合」の取り組みを視察することになり、11月13日に現地にて勉強会を行いました。

「川根柚子協同組合」は、平成23年に地域の特産品である“ゆず”を地域活性化の起爆剤とすべく、約60戸の農家で協同組合を設立し、栽培～収穫～加工～販売まで一貫した管理体制でブランド化を図っておられます。また、グローバルGAP（農産物の国際基準）の取得を進められており、先進的な取り組みを行っておられます。

特に農薬を使わず栽培された柚子は、香り高い果汁をたっぷり使った「ゆずポン酢しょうゆ」や「ゆずバターケーキ」が人気だそうです。

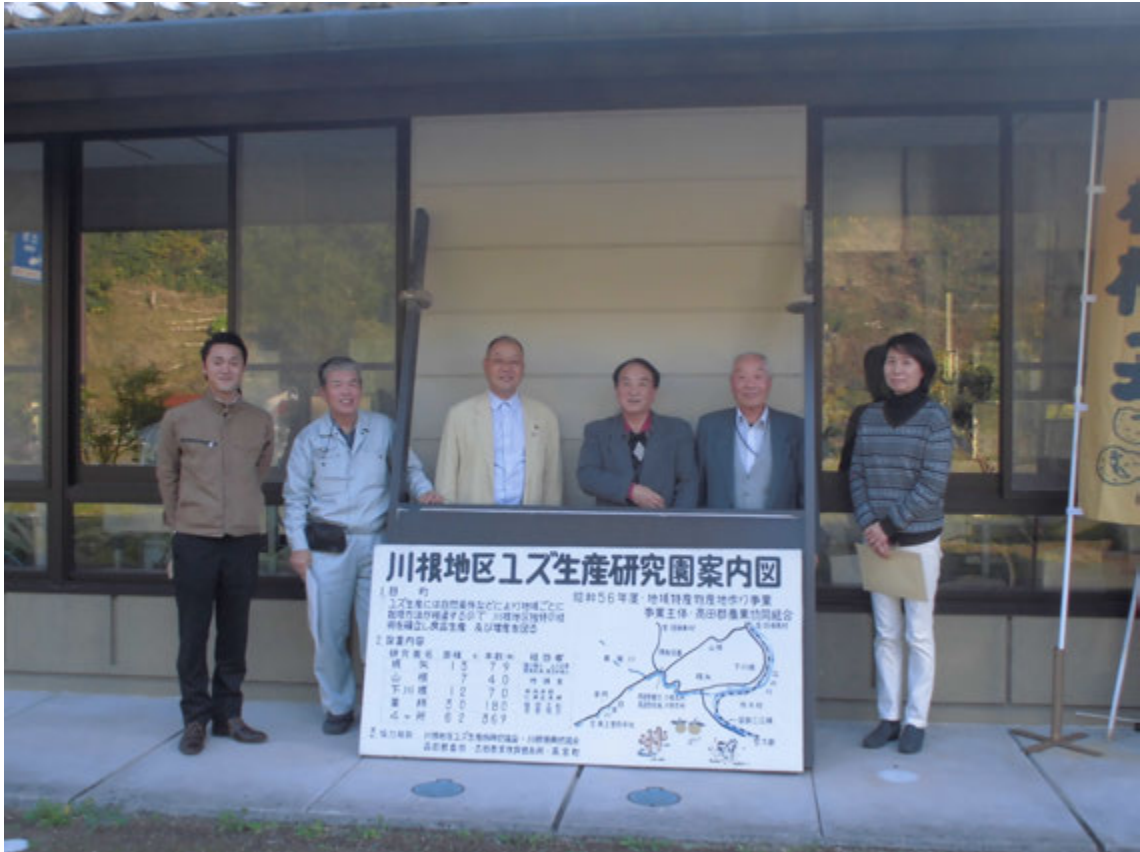
勉強会の中で株式会社よりも協同組合の方が、地域活性化団体としての位置づけが明確であること、補助金等支援事業（経産省、農水省等）もあり、運営方法が当ファームの現状に近いことなどから協同組合の形態が適切なのではと感じています。

今後具体的な設立に向けて関係機関との打合せを行い、年内にも方向性を出して、「里山の夢ファーム」の会員の皆様に説明を行う予定です。

写真は「川根柚子協同組合事務所・加工場」前にて組合長さん、部長さんと一緒に撮影しました。収穫時期真っ只中大変お世話になりました。

また、お土産にいただいた「ゆずポン酢しょうゆ」はゆず果汁たっぷり、とても美味しかったです。その他にも「ゆずジャム」「ゆずママレード」「ゆず茶」など品ぞろえも豊富で宅配してもらえます。

川根柚子協同組合 TEL：0826-58-0330



2017年12月 竹パウダーニュース

「竹肥料づくり本格開始！！」

竹パウダーを使った米の栽培を始めて9年目をむかえます。山内自治振興区米づくり研究会では、30年産米「里山の夢」の作付けに向けて本格的な竹肥料づくりを開始しました。

竹林の伐採、樹木破砕機により竹パウダー100トンを作り、牛堆肥と混合し発酵させます。配合比を2:3として250トンの竹堆肥ができます。

竹には稲作に不可欠のケイ酸やミネラル成分等が多く含まれる他、竹林は土着菌の宝庫であり、竹と一緒に持ち込まれた有用な微生物が良質な発酵を促進し、健康な土づくりに大きな効果を発揮します。

これがブランド米「里山の夢」の美味しさの秘訣です。

竹肥料・竹パウダーの効果は

- ① 殺菌・抗菌効果により病害虫が減る。
- ② 土中の微生物が活性化し、土の団粒効果がある。
- ③ 根が活性化し、ミネラルやリン酸吸収が促進される。
- ④ 作物の甘味・旨みが増す。
- ⑤ 消臭効果で堆肥独特のニオイがなくなる。

竹パウダーのまま、田んぼや畑に散布しても同等の効果が期待できます。

各自治会で竹林伐採の環境整備とその副産物の竹パウダーを使って美味しい野菜や米作りに挑戦してください。

